

## 第23回日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会 開催案内

### 第23回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

会長 森康子（神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野教授）

ご挨拶

この度、「第23回目の日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会」を担当させていただくことになりました。会期は2024年11月27日から28日に東京（戸山サンライズ、新宿区）での開催を予定しております。

本学会は、病原体等の取り扱いにおける安全管理運営、安全装置および実験施設設計等のバイオセーフティに関する学術研究の推進、ならびにバイオセーフティの普及・発展に寄与することを目的としております。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)はパンデミックとなり、多くの人を死に至らしめ、世界を恐怖に陥れました。我々は未知の感染症の怖さを知ることになり、バイオセーフティの重要性を再認識することとなりました。

今後もバイオセーフティに関わる多くの新しいエビデンス・知見の必要性が叫ばれ、産官学の連携も含め、如何に情報の共有を行っていくかが益々重要になっています。より一層の医学教育の充実、感染症の診療、研究の発展、次世代の専門家の育成が急務となっており、「バイオセーフティ専門家講習会」も継続的に実施しています。

本学術集会では、シンポジウムならびに教育講演 機器・機材展示及び企業からの製品紹介講演を予定しております。ぜひ多くの一般演題のご応募をお待ちしており、活発かつ有意義なディスカッションを期待しております。

本総会・学術集会がわが国における更なるバイオセーフティ発展の重要な機会となることを祈念し、一人でも多くの方々にご参加頂ければ幸いです。

一般演題・企業プレゼンテーション・企業展示・講演抄録集広告の募集につきましては、JBSA 学会ホームページをご参照ください。

<https://jbsa-gakkai.jp/meeting/index.html>